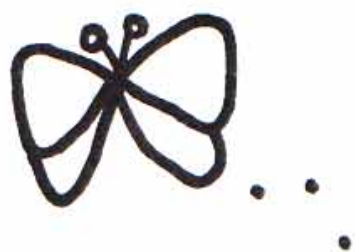
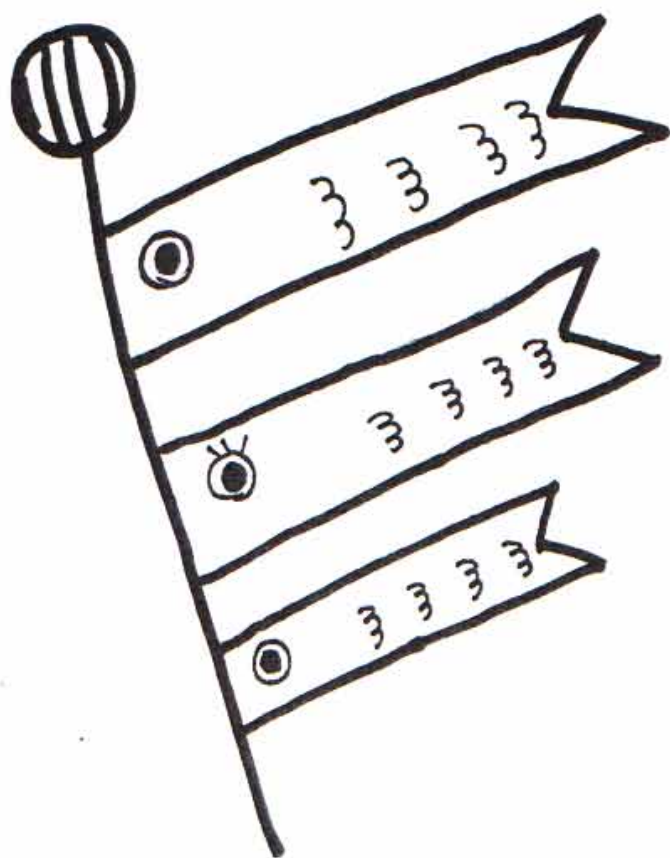


# とよたち 美肌通信

5月号 vol.70



AÿÜKAc



5月号



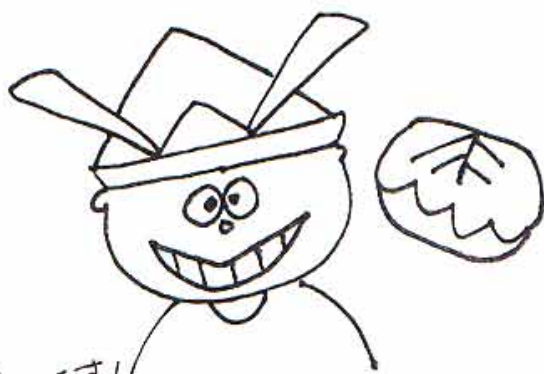
今月号の表紙は、空たかく  
きもちよさそうにこいのぼりがおよいで  
いる、かわいらしい絵です。ちょうちんや花が  
咲いていて、かしわもちもありますよ～!!  
楽しそうなこどもの日のお祝いですね😊

趣味はアリエルのグッズを集めることで、  
ディズニーランド・シー・ストアに行く事が好きだ  
そうです。🐻 バレエが得意な、

お姉ちゃんか  
かいてくれました!

ありがとうございます!

院長はじめスタッフ・同僚より感謝いたします!



想を知る。その想を知るには、当事者や観  
に自分を置き換えて考える。そして、その想を  
知る為には、曇り硝子では決して見えてこない。  
透き通った心で見なければならぬ。

それには どうしても 素直でなければならぬ。

エピソードを紹介します。大阪の外食産業、  
「千房」の創業者 中井正嗣氏の修業時代の話  
である。(一流たちの金言2 からの抜粋)

義兄のレストランを手伝っていた若い頃、エビ  
フライをお客さんに出して、まさにソースをかけて  
食べようとしている時、義兄が「あれを下げ」てこ  
い」と言うんです。わけも分からず姉が下げて  
くると、その皿を私に見せて、「おまえ、なんか忘  
れたやろ」と。だれが分からないんですね。しは  
らくしたら、「これや！」と言うて、パセリを皿の上  
に置いたんです。急いでお客さんにお戻ししたら、  
お客さんは「何や、たん？」と。姉が「すみません、  
パセリ忘れました」と言ったら、「パセリなんか食う  
か！この忙しい時に、アホか！」と怒って帰りは、  
たんです。そしたら義兄は「見てみい、おまえのせい

で「お客さん帰ったやんか！」と私を叱ったんですね。「なんでやねん。お客さんはパセリな人が食へんって言うたやんか。機嫌よく食ハてたのに、あんたが下げさすさかい、こんなことになったんやないか……」。口には出しませんでしたか、系内得できなくて、ずっとふくれ、面のまま働いていたんですね。そしてカウンターのお客さんが私にこう言いました。「兄ちゃん、あんたパセリ忘れたんやろ。忘れたら素直に謝らなあかんやんか。素直に謝って、まだなんやかんや言われたら、みんなあんたを応援する。でも、いまのふくれ、面の態度はなんやの。もっと素直にならんあかんやんか」この時は涙が出ました。義兄の下で修業した間に学んだこと、教わったことは一生の基礎となってます。

作り手の想いを知る。作り手とフロア係の双方が一体となつて客に商品を提供する。すると出来上がった形に心が宿る。やはり素直になるとは最も大切なことであると思う。

- では素直でないとは どうゆうことか。例えば、
- ・笑顔がない
  - ・お礼を言わない
  - ・おいしいと言わない
  - ・目に輝きがない
  - ・希望や信念がない

- 自分が最も正しいと思っている
- ワケをこぼす
- 他人を羨む
- いつも環境が悪いと思っている
- 他人に嫉妬する
- 何でもないことに傷つく
- 悲観的に考える
- 問題意識をもっていない
- 自分の人生と仕事に意欲がない。

これらの逆を行えば素直な人間になれる、人生を開くことが出来るでしょう。私も行います。

院長：拝